

連絡先 自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL 03-5253-8111 内線42353
 アドレス : <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

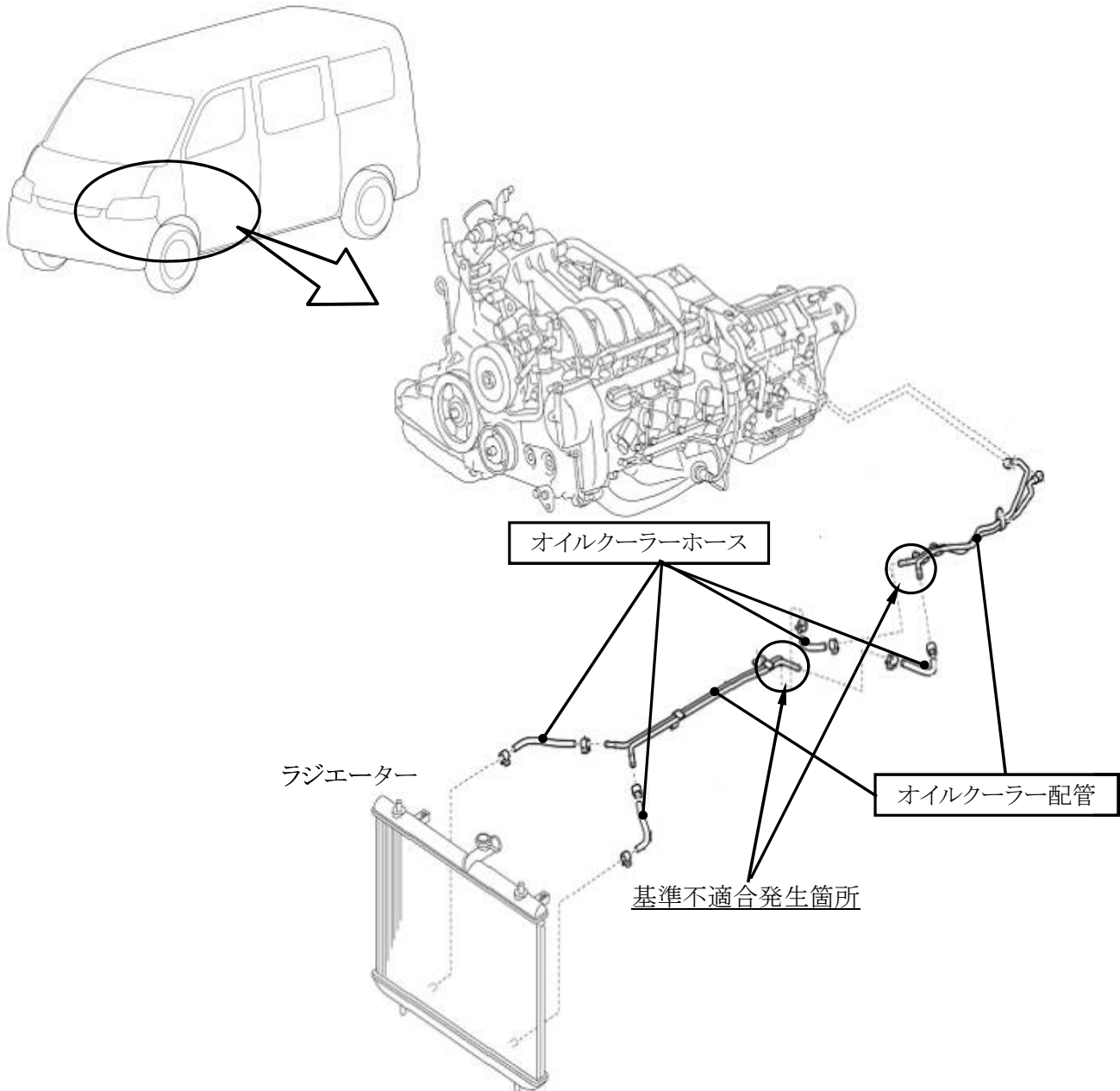
リコール届出日：平成22年3月31日

リコール届出番号	外-1657	リコール開始日	平成22年4月1日
届出者の氏名又は名称	ダイハツ工業株式会社 取締役社長 箕浦 輝幸	製作国:インドネシア共和国 製作者名:ダイハツ工業株式会社 (PT. Astra Daihatsu Motor) 問い合わせ先:トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター TEL 0800-700-7700	
不具合の部位(部品名)	①動力伝達装置(オイルクーラー配管) ②緩衝装置(ショックアブソーバ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①自動変速機(A/T)のオイルクーラー配管とオイルクーラーホースの製造工程が不適切なため、当該配管の加工が不適切なもの及び当該ホースの洗浄処理が不十分なものがある。そのため、走行中の振動などによりオイルクーラーホースが抜けてオイルが漏れ、走行不能になるおそれがある。 ②後輪ショックアブソーバにおいて、車軸側取付けボルトの締め付けトルクが不足しているものがあるため、走行中の振動等で当該ボルトが緩んで異音が発生し、そのまま使用を続けると、取付け部が外れ車両安定性を損なうおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、オイルクーラーホースとオイルクーラー配管を良品と交換する。 ②全車両、当該ショックアブソーバ取付けボルトを正規トルクで締め付ける。		
不具合件数	①9件 ②41件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者:ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近に外No.1657のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
トヨタ	ABF-S402M	タウンエース ライトエース	S402M-0000113～S402M-0008963 平成20年2月25日～平成20年12月16日	8,576	①7,719 ②8,569
	ABF-S402U		S402U-0000101～S402U-0002670 平成20年2月25日～平成20年12月16日	2,555	①1,591 ②2,553
	(計2型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成20年2月25日～平成20年12月16日	(計 11,131 台)	

【注意事項】 リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

改善箇所説明図①



自動変速機(A/T)のオイルクーラー配管とオイルクーラーホースの製造工程が不適切なため、当該配管の加工が不適切なもの及び当該ホースの洗浄処理が不十分なものがある。そのため、走行中の振動などによりオイルクーラーホースが抜けてオイルが漏れ、走行不能になるおそれがある。

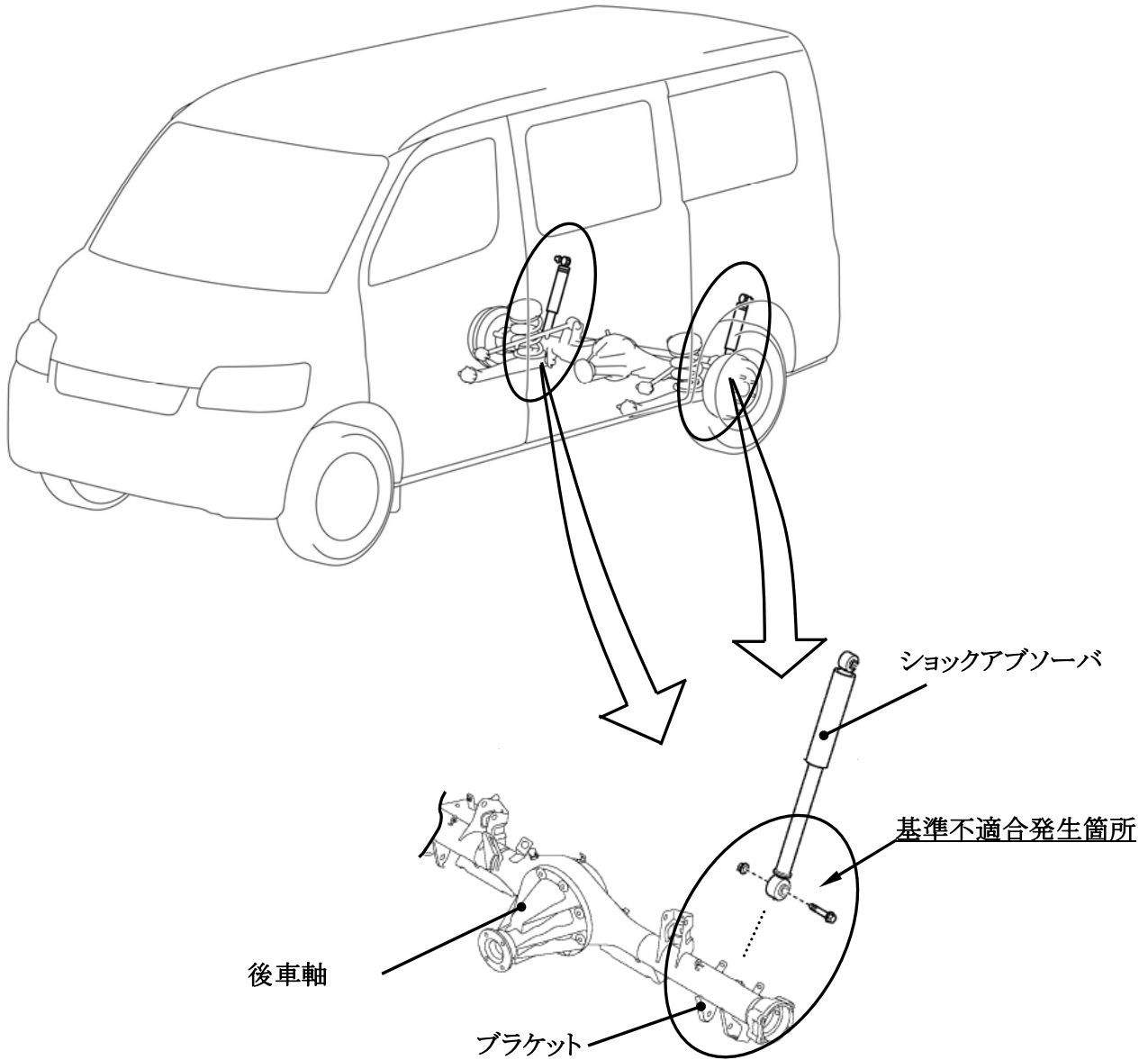
改善の内容

全車両、オイルクーラーホースとオイルクーラー配管を良品と交換する。

注： は交換部品を示す。

識別：ボンネットフード内車台番号の先頭桁下の位置に黄色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図②



後輪ショックアブソーバにおいて、車軸側取付けボルトの締め付けトルクが不足しているものがあるため、走行中の振動等で当該ボルトが緩んで異音が発生し、そのまま使用を続けると、取付け部が外れ車両安定性を損なうおそれがある。

改善の内容

全車両、当該ショックアブソーバ取付けボルトを正規トルクで締め付ける。

識別：ボンネットフード内車台番号の先頭桁下の位置に黄色ペイントを塗布する。